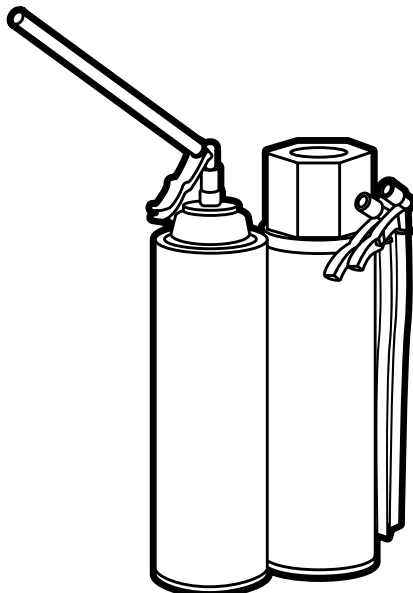


エアゾール缶のため簡単に断熱・充填ができます。

一液型発泡ウレタン(エアゾール型) [いちえきがたはっほううれたん]



特長

高気密・高断熱住宅用シーリング剤としての用途の他にサッシまわり、ドアの隙間を充填することにより遮音・結露防止効果を発揮し、また、温水冷水パイプ、空調設備の断熱保温等にも幅広く使用できます。空気中の水分と結合することで硬化します。硬化時間は約 1～24 時間と様々なものがあります。



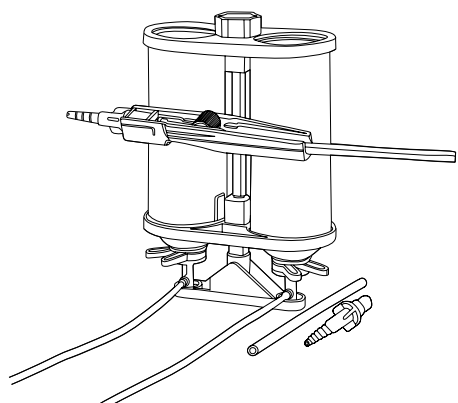
- エアゾール(スプレー缶)で簡単に注入でき、缶容量の 20～30 倍の容積に発泡するので大きな穴でも充填でき、硬化後は独立気泡(固いスponジのイメージ)で断熱・吸湿効果があります。
- 吐出後、さらに見た目が 2～3 倍膨れるので狭い隙間にも充填できます。

COCO MITE

- 一液型又は二液型かを確認してください。
- 用途に合わせて必要な容量(g)を選んでください。
- 充填用・吹き付け用、ガンタイプかを確認してください。

※ガンタイプは使用頻度の高いときに便利です。

二液型発泡ウレタン(エアゾール型) [にえきがたはっほううれたん]



特長

二液が混ざるとすぐに固まるので、きめ細かく美しい仕上がりで、天井など垂れ落ちては困るところに適しています。(硬化時間約 1 分～5 分)

発泡ウレタンの様々な用途

建築(断熱・結露防止)、防音・吸音、冷暖房工事、保温・保冷工事、冷凍コンテナ・冷凍ショーケース、(断熱材として)低温倉庫、各種配管工事車両、船舶、航空機、各種クーラー、浮力保持、(浮力材として)梱包、接着、充填、補修工事など幅広く使用できます。

用途・項目	品名	一液型			二液型
		吹き付け	充填	ガンシステム	
充填用途	一般	○	○	○	○
	断続使用	×	×	○	×
吹き付け用途	20mm 以下の厚み	○	×	×	○
	20mm 以上の厚み	○	×	×	○
	20mm 以下天井使用	△	×	×	○

(測定条件：気温 20℃・湿度 50%)



- 配管パイプ貫通部のすき間充填・固定に。
- 配線ケーブルボックスのはめ込み・すき間充填・固定に。
- 床下のきしみ防止・断熱・保温に。

気密性や防水性効果のために隙間を埋めるのに使用します。

コーキング材・コーキングガン [こーきんぐざい・こーきんぐがん]

コーキング材



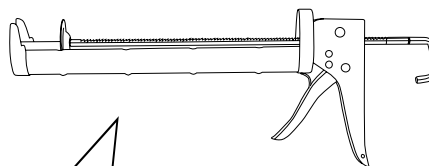
ガンにコーキング材を
セットして使用します。



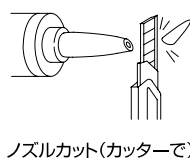
特長

- ・ 空気(湿気)に触れると硬化し始め、気密性、接着性、耐久性を高めま。
- ・ 建築現場・配管工事・土木工事等でのシールや亀裂補修に使用します。

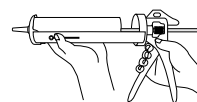
コーキングガン



●カートリッジタイプのコーキング材を使用するにはコーキングガンが必要になります。コーキングガンを利用してコーキング材を押し出して使用します。



ノズルカット(カッターで)



カートリッジガンにガンにセットし、レバーを引くとピストンが押し出されカートリッジの後部を押すことにより先端からシリコンが吐出されます。

等級区分について

改正建築基準法を受けて、室内施行用接着剤の JIS でホルムアルデヒド等級区分が規格化されました。それら JIS 規格の認定を受けた接着剤は JIS マークとともに放散等級表示が許されます。

■建材の環境JIS・等級区分

等級・記号	ホルムアルデヒド放散速度 $\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$	内装仕上げの制限
JIS F☆☆☆☆	5以下	使用面積に制限なし
JIS F☆☆☆	5を超えて20以下	建物の構造・種類・換気設備・換気回数で面積制限
JIS F☆☆	20を超えて120以下	使用禁止
無等級	120を超える	使用禁止

放散速度の単位: $\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$

JIS 表示をしていない接着剤については、自らホルムアルデヒド発散等級の証明・表示をすることが必要になります。これにつき日本接着剤工業会では自主表示制度(業界団体自主表示)を設けました。

■JAIAのホルムアルデヒド等級区分

等級・記号	ホルムアルデヒド放散速度 $\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$	内装仕上げの制限
JAIA F☆☆☆☆	5以下	使用面積に制限なし

放散速度の単位: $\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$

ココミテ
COCO MITE

- 使用箇所(屋内・外・水まわり等)を確認してください。
- シーリング材の種類を確認してください。
- 使用場所に合った色を確認してください。
- 塗料の上塗りができる物とできない物があるので確認してください。
 - ・ 塗装不可 : シリコン樹脂系・油性系・ブチルゴム系
 - ・ 塗装可 : 変性シリコン樹脂系・ポリウレタン樹脂系・アクリル樹脂系・アクリルウレタン樹脂系

せい シール剤

化学製品

金属配管の接合部の隙間をふさぎ、流体の漏れを防止します。

給水用・給湯用防食シール剤 [きゅうすいよう・きゅうとうようぼうしょくしーるざい]



塗らないと...



塗ると...



特長

給水(飲料水)、給湯(お風呂や湯わかし)が流れる鉄パイプのねじ込み接合部全面に塗布して接合し、漏れを防止します。



蒸気用シール剤 [じょうきようしーるざい]

特長

蒸気(200℃まで)の漏れを防止します。
蒸気配管やボイラー付属所設備の接合部シールに最適です。
鉄管ねじ用とステンレスねじ用がありますので確認してください。



ガス配管用シール剤 [がすはいかんようしーるざい]

特長

流れるガスにより仕様が分かれます。
・都市ガス配管用
・プロパンガス(LPガス)配管用
・工場内等の燃料ガス用

ココミテ
COCO MITE

- 何用(使用用途)の配管を接合するのか、温度や配管の材質を確認してください。
- 容量(g)、色を確認してください。
- 給水、給湯用には日本水道協会規格品(JWWAK-142・146)を選んでください。
- ガス配管用はガスの種類を確認してください。

すき間をふさいだり、穴を埋めたり、貼り合わせたりするのに使します。

汎用シリコーン [はんようしりこーん]



特長

- ・チューブやカートリッジ等の容器から、押し出すだけで使用する事ができ、硬化後はゴム弾性体になります。
- ・耐熱・耐寒性・耐候性・電気特性など、多くの優れた性能をもったものがあります。
- ・硬化と同時にほとんどの材質とよく接着するという特性から、様々な用途に用いられます。

(シーリング剤の用途)

- ・貼り合わせる
- ・穴を埋める
- ・すき間をふせぐ

耐熱用シーリング剤 [たいねつようしーりんぐざい]



特長

- ・ボイラー・電子レンジの窓枠・その他高温になる部分の接着・シールに最適です。

建築用シーリング剤 [けんちくようしーりんぐざい]



特長

- ・建築用途のガラス回り、サッシ回り、金属回りのシールに最適です。

ウレタン系シーリング剤 [うれたんけいしーりんぐざい]

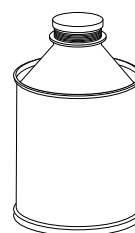


特長

- ・塗装も容易で、一般建築内外装用、ウレタン系建築土木用などに使します。

ココミテ
COCO MITE

- 使用用途により種類・容量(g)を確認してください。
 - 使用する箇所に合った色を選んでください。
 - シーリングした後に色を塗る場合は、乾燥後塗装可能かどうかを確認してください。
 - プライマーが必要かを確認してください。
 - ・プライマーはシリコーンのシール材と相手材質との接着性を向上させるための下地処理材です。
- ※プライマーなしで接着できるシリコーン剤もあります。



金属をはじめ様々な材質のものを補修、接着します。

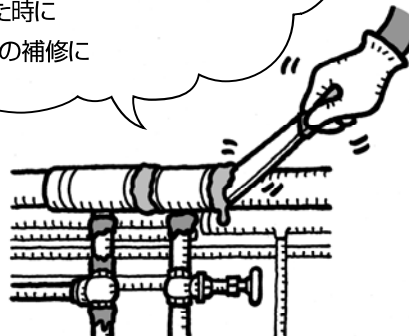
補修剤 [ほしゅうざい]

特長

特別な技能やテクニックがいらず簡単に配合ができ、火を使わず金属の接合や穴埋めができます。

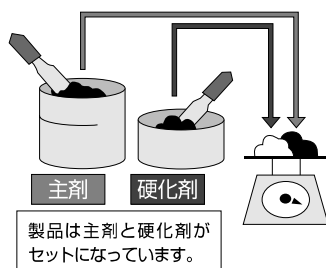


- ・液体やガスを入れるタンクに亀裂が入ってしまった時に
- ・パイプに穴が開いてしまった時に
- ・パイプの継ぎ目にすき間ができてしまった時に
- ・鋳物の補修に

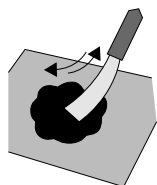


使用手順

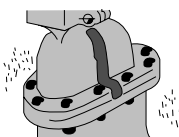
主剤と硬化剤を決められた配合で計量します。



パテ状タイプは板等の上で混合します。



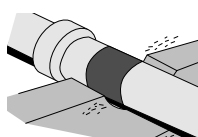
パテ状タイプは盛り付けても垂れ落ちしません。



液状タイプは紙コップ等の容器で混合します。



液状タイプはうすく塗ることもできます。



ココミテ
COCO MITE

- 耐熱温度(℃)を確認してください。
- 補修対象物の材質(鉄、アルミニウム、ステンレス等)を確認してください。
- 硬化時間(時間、分)を確認してください。
- 容量(kg)を確認してください。

注意事項

- ・補修剤にはペースト状(パテ状)、液状等のものがあります。
- ・補修する箇所が水や油で濡れている場合は、塗布前に水や油を除去してください。
- ・塗布した後に加温することで、硬化を早くすることができます。
- ・表面がツルツルした所よりもザラザラと荒れている方がよく接着します。可能な限りヤスリ等で面荒らしをしてください。